



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。電源コードを直接引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。
- 電源コードや同軸ケーブルなどこの製品に接続するケーブルが傷んだときは、施設管理者にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 電源部と光電気変換部の間に機器を挿入する場合は、必ず通電形機器の通電端子に接続してください。同軸ケーブルに電流が流れますので、非通電形機器や非通電端子を接続すると回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。
- 同軸ケーブルの接続や接栓加工などで、心線と編組を接触させたり、同軸ケーブルを傷つけたりしないでください。電源部と光電気変換部を接続する同軸ケーブルには電流が流れますので、火災や感電の原因となります。
- この製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。故障や感電、けがの原因となります。

- 万一、内部に水などが入ったり、煙が出ている、変な臭いがあるなど、使用時に異常が生じた場合は、ただちにこの製品とこれに接続されている機器の電源プラグを抜き、施設管理者にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- 雷が鳴り出したら、この製品に触れないでください。感電の原因となります。



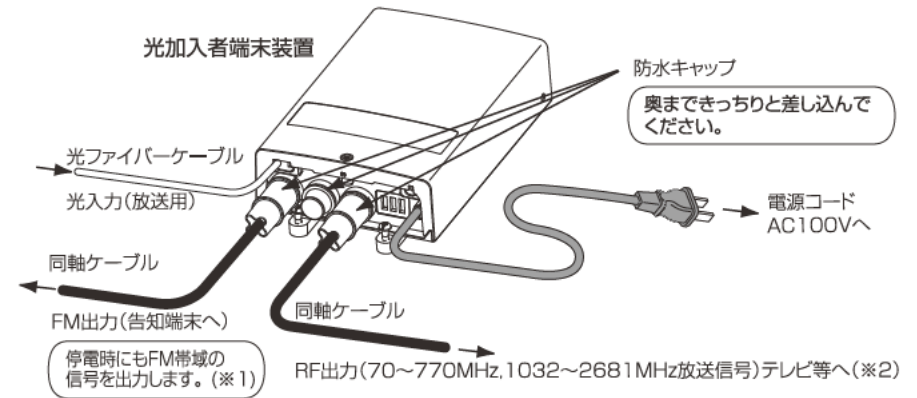
注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

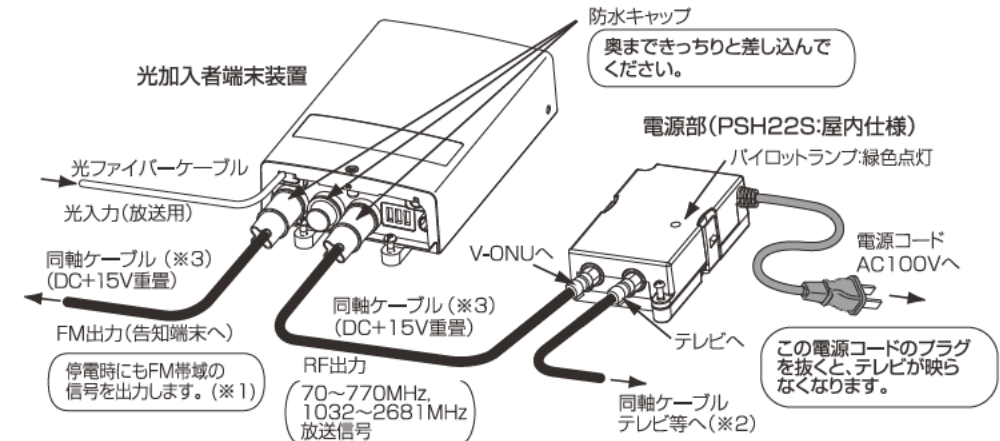
- この製品の電源部を暖房機の付近や高温になる場所では使用しないでください。火災や破損の原因となることがあります。
- この製品の電源部を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。
- 光ファイバーケーブルが折れたり、破損した場合は、破片に直接手を触れないでください。けがをする恐れがあります。
- 電源内蔵で屋外設置をする場合は、電源部のACコードに水がかからない場所(軒下・家屋の側壁など)に設置してください。

使用例

<電源内蔵で使用する場合>



<電源分離で使用する場合>



- ※1 FM帯域の信号出力端子を設定できる「FM切換スイッチ」を備えています。緊急告知端末が接続されるシステムにあわせて設定してください。
- ※2 テレビ、チューナー、HDDレコーダー等のCS/BSアンテナ電源を必ず「供給しない」または「OFF」に設定してください。
- ※3 電源重畳時は、RF出力端子もしくはFM出力端子のどちらか一方からとってください。

(注意)

電源部は光加入者端末装置専用です。他の用途には使用しないでください。また、当社指定の電源部を使用してください。